

「中等度冠動脈狭窄病変における

冠血流予備量、冠動脈血流予備量比、冠微小血管抵抗指標 の有用性評価」についてご協力をお願い

札幌東徳洲会病院 循環器内科では、選択的冠動脈造影にて冠血流予備量比 (FFR)、冠血流予備量 (CFR) (見た目の狭窄度だけでなく、圧力測定・血流量測定により数値にて客観的に治療方針を決定するための検査であり、冠動脈狭窄評価方法として世界中の循環器ガイドラインにて強く推奨されています) 及び、冠微小血管抵抗指標 (IMR) (CFR 計測時に同時に求められる血管抵抗の指標) を受けられた方の、予後と検査結果 (FFR と CFR) の相関性を検討するため調査研究を行っています。

この研究の目的は、FFR、CFR、IMR の測定値の解釈をより正確に行う事で、今後の患者さまにより一層正確な検査結果の提供を行うようにすることです。

本研究の結果は専門の学会や学術雑誌に公表されることがあります。

本研究では氏名などの個人情報個人が特定できないデータに変換した後に収集いたしますので、個人情報が公表されることは一切ありませんし、本研究のために新たな検査等が発生することはありません。

本研究に該当する方で、ご自分の診療記録の使用を希望されない方は、循環器内科担当医師へお申し出下さい。その場合、データ収集は一切致しません。その後の治療に不利益な対応を受けることもありませんが、補償となる対応もありません。

なお、本研究の対象となる患者さまは、希望により個人情報保護や本研究の実施に支障がない範囲で、研究方法についての資料を閲覧することができます。また、本研究の成果により知的財産権等が生み出される可能性はありますが、この権利の帰属先は当院となります。本研究の責任者は、当院循環器内科医師の山崎和正です。

【研究対象期間と該当する患者さま】

2016年1月1日より2020年12月31日までに札幌東徳洲会病院 循環器内科で、狭心症に対して選択的冠動脈造影を受け、FFR 及び CFR 検査による冠動脈の機能的評価を受けた、あるいは、受ける予定のある20歳以上の患者さまです。

【研究実施期間】

当院院長承認後から2025年3月31日まで (登録期間：当院院長承認後から2020年3月まで)

【登録を希望されない場合、お問い合わせ、ご苦情等の連絡先】

札幌東徳洲会病院 循環器内科 研究担当医師 萱沼圭吾

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1

電話：011-722-1110

FAX：011-723-5631

(2016年12月20日作成)